

# 令和2年度事業報告

I 事業期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日

## II 事業の成果

コロナ禍により社会全体が大きく変容し、収束の見通しが立たない中ではありましたが、感染拡大防止のための安全対策を行うとともに関係機関との情報交換や連携を図りながら、男女共同参画に関する最新の情報を発信・提供し、男女共同参画社会の実現を目指す活動を行った。

1. 感染拡大防止に留意し、法人独自の活動と部会(4部会)の活動を行うとともに、「じゃらん・じゃらんcafé」を開催し、会員の親睦と市民との交流、連携の機会を提供した。

- ① 青森市男女共同参画推進月間事業…ピンクリボンキャンペーンを開催、インナーパークに「ピンクリボンねぶた」を展示したほか、じゃらん・じゃらん「ストレッチCafé」を開催した。
- ② カダールフェスタ(市民活動企画展)…オープニングイベントにおいて20年連続参加団体として表彰を受ける。全部会が男女共同参画の視点で企画運営した。(部会の活動報告参照)
- ③ パープル&オレンジ(W)リボン事業…女性への暴力をなくす運動のシンボル、パープルリボンと子どもへの暴力防止のシンボル、オレンジリボンの「Wリボンねぶた」をインナーパークに展示したほか、関係機関と連携しアウガ正面玄関前でチラシ等を配布、防止の啓発に努めた。
- ④ 東青地域男女共同参画ネットワーク事業…東青地域の団体及び各市町村の担当職員と合同会議に出席、交流と連携を図った。
- ⑤ 日本女性会議2020 in あいち刈谷…コロナ禍によりオンライン会議での開催となり、初めてZOOMでの視聴会を企画し、参加した。
- ⑥ 他団体との連携…各事業開催にあたり、カダール及び団体・個人の皆様と連携・交流を行った。
- ⑦ ホームページやフェイスブック、ツイッターに会報や事業の予告などを掲載し、広く周知した。
- ⑧ 社会貢献事業として、ピンク・パープルWリボンマスクを100枚製作し、市民の皆様へ提供、配布した。
- ⑨ 青森市民病院看護師の皆様へ、コロナ下での尽力に敬意と感謝を込めてピンクリボンクッキーを贈呈した。
- ⑩ 講師派遣依頼や審議会委員等の推薦依頼を受け、会員の自薦を含め依頼機関に推薦した。
- ⑪ 関係機関や団体・企業等の依頼で講演活動を行い、交流や連携を図った。
- ⑫ 総務委員会を中心に作成した会報を4回発行、会員への情報提供のほか外部への情報発信と普及・啓発を行った。
- ⑬ 青森ケーブルテレビにおいて男女共同参画推進の情報番組「さんかく△すすめ隊」の制作を担当。毎月、最新の情報を発信した。

2. 「青森市男女共同参画プラザ」「青森市働く女性の家」の指定管理者(平成29年4月1日～令和4年3月31日)として両館を管理運営、4年目を終え事業報告書を青森市に提出した。

- ① 指定管理者業務遂行のため15人と雇用契約を結び、事業運営部門と施設管理部門を総合し管理運営を行った。

\* 詳細は令和2年度「青森市男女共同参画プラザ事業報告書」「青森市働く女性の家事業報告書」に明記

3. その他の事業

- ① 管理・委託業務事業
- ② 出版事業
- ③ イベント企画・運営事業

上記の事業は行わなかった。